



開館 50 周年

佐世保のプラネタリウム

ドーム状のスクリーンに明るく輝く星空を映し出すプラネタリウム。今から 100 年前の 1923 年にドイツで「光学式プラネタリウム」が誕生し、世界中に広まりました。

本市のプラネタリウムは昭和 48 (1973) 年の佐世保市制施行 70 周年を記念して児童文化館に作られた、県下で初めてできた一般用プラネタリウムでした。その後児童文化館から少年科学館にプラネタリウムは移り、ことしで設置から 50 周年となります。

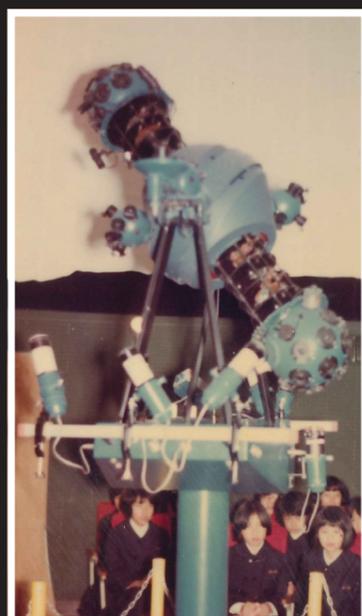
今回の特集では、本市のプラネタリウムの移り変わりや星空を楽しむ話などを紹介します。家族や友達などと一緒に、プラネタリウムで雄大な星空を楽しんでみませんか。



佐世保にプラネタリウムが開館して 50 年

光学式プラネタリウム

昭和 48 (1973) 年 4 月 3 日、児童文化館 (熊野町) の隣にプラネタリウム館が開館しました。開館当日は約 100 人の子どもたちがオープンを待っていたそうです。導入された光学式プラネタリウム投映機「MS-8」は児童文化館が閉館する平成 22 年まで 37 年間使用され、現在は総合教育センターに展示されています。



光学式プラネタリウム投映機「MS-8」



MS-8 の投映



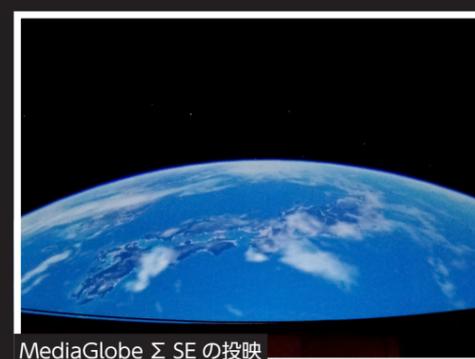
児童文化館とプラネタリウム館



開館初日 (昭和 48 年 4 月)

デジタル式プラネタリウム

平成 22 年の少年科学館開館時にデジタル式プラネタリウム投映機を導入。令和 3 年に投映機を「MediaGlobe Σ SE」にリニューアルし、現在は 1590 億個以上の恒星、40,000 個の散開星団やブラックホール、星雲などの多様な天体に加えて ISS (国際宇宙ステーション) など普段見ることができない視点の映像なども、高精細な 3D で表示されるようになりました。



MediaGlobe Σ SE の投映



現在の投映機



プラネタリウム内



スクリーンに投映された月



宇宙から見た ISS

星空の専門家に聞いてみました！



**たくさんの星の中の地球に
自分がいることを感じてほしい**

少年科学教室
特別講師 久野 正明先生

昭和 63 (1988) 年に児童文化館の指導主事になり、プラネタリウムに携って来ました。最初は赴任して1週間でプラネタリウムのシナリオや投映操作などを全て覚えなければならず大変でした。元々教員だった私にとって新しい世界は知ることが多く、第二の仕事の出発として、とても勉強になり、楽しかったです。

プラネタリウムの良いところは、時間や天候に関係なく星が見られることです。学校では実際の夜空を見て学習できないので、プラネタリウムで学習できることは恵まれていると思います。50年前の落成式で当時の辻市長が話された「プラネタリウムで星空のような美しい心と宇宙のような広い心を育ててほしい」という思いにとっても感動しました。佐世保の子どもたちにこのように育ててほしいという思いは、プラネタリウムがあることで今も続いていると思います。

今はまちの明るさによって星が肉眼で見えにくくなっていますが、プラネタリウムでは星のきれいさや数の多さ、明るさがはっきりと分かります。たくさんの星の中にある小さな地球に自分がいることを感じてほしいです。ぜひプラネタリウムの美しい夜空を見に来てください。(取材日 5月25日)



当時、児童文化館のプラネタリウムの操作盤を操作する久野先生



**季節の星座や日食など
幅広い事象に面白さを感じて**

長崎県天文協会
会長 松本 直弥さん

天体観望は高校生の頃に趣味で始めました。きっかけは昭和 45 (1970) 年にベネット^{すいせい}彗星を見たことです。望遠鏡がなくても見える明るい彗星で、とても印象に残っています。

私が子どもの頃、私のように天文を教える人が身近にいたら良かったのという思いがあり、星が好きな人の手助けをしています。児童文化館に天体観望室がオープンした昭和 55 (1980) 年から天体観望会の講師として携わり、ことしで 44 年になりました。天体観望会では自分の体験をベースに星空解説を行っています。少年科学館は天体観望会の当日が曇りや雨でも、プラネタリウムでその日の星を見られるところがいいですね。

現在星座は 88 個あり、九州で見える星座は 70 個ほどあります。季節ごとに目印になる星を覚えると星座は見つけやすくなりますし、星座を覚えると星空を見る楽しみが増えます。佐世保はまちの明かりが少ないところだと天の川が見えるほどの環境でもあります。

天文は季節の星座という日常的なものから、日食や月食、彗星などという非日常的なものまで幅広い事象があります。それぞれの面白さを感じてほしいですね。(取材日 5月20日)



天体観望会で星空解説を行う松本会長



少年科学館「星きらり」ではプラネタリウム投映や天体観望会の他、科学に関するイベントを行っています。夏休み期間のイベント情報や申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



市ホームページ
(少年科学館)

7月のプラネタリウム投映スケジュール

| 時間 | 土曜・学校休業日の平日 | 日曜 |
|-------|---------------------|----------------------------------|
| 10:10 | 学習投映 ※佐世保市民は無料。 | よもやま学園天文部 地球・月・太陽、 身近な天体たち |
| 11:10 | ワンピース プラネタリウム | ナットのスペース アドベンチャー |
| 13:00 | こぐま座のティオ | ラビくんの うちゅうりょう |
| 14:00 | ワンピース プラネタリウム | |
| 15:00 | ナットのスペース アドベンチャー | オデッセイ 果てしなく美しい宇宙 |
| 16:00 | 季節の星座 | |

料金 高校生以上 320 円、4 歳～中学生 150 円、3 歳以下無料
(4 歳以上の未就学児は、大人 1 人につき 1 人無料)

申込 電話か直接少年科学館へ

ナイトプラネタリウム投映スケジュール

| 時間 | 7月16日(日) | 7月30日(日) |
|-------|---------------------|---------------------|
| 18:00 | ワンピース プラネタリウム | ナットのスペース アドベンチャー |
| 19:00 | ナットのスペース アドベンチャー | ワンピース プラネタリウム |

7月の新番組



©nWave Pictures



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

天体観望会「月の写真を撮ってみよう」

口径 200mm の天体望遠鏡で、月・金星・火星・恒星などを観察したり、スマートフォンのカメラで月を撮影したりします。本紙 4 ページで紹介した松本会長の天文に関するお話や当日の星空解説も行います。

※雨天・曇天の場合はプラネタリウムで開催します。

日程 ① 7月22日(土) ② 7月29日(土) ※全て 19時～20時45分。

定員 各日 40 人(予約優先)

申込 ① 7月10日(月) ② 7月20日(木) 以降に電話か直接少年科学館へ



みてみゅー
「のぞいてみよう天体の世界」

プラネタリウム 100 周年
・佐世保プラネタリウム 50 周年記念イベント

プラネタリウムの発明 100 周年と本市のプラネタリウム開館 50 周年の節目の年にちなみ、プラネタリウムの歴史や本市のプラネタリウムの歩みを振り返るパネル展を行います。

日程 7月22日(土)～11月12日(日) 場所 少年科学館



落成式(昭和48年4月)



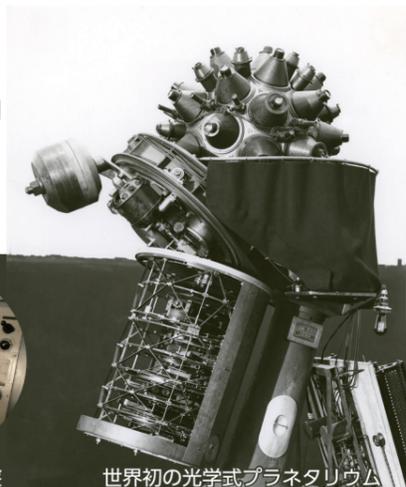
当時のパンフレット



閉館日(平成22年9月)



MS-8の操作盤



世界初の光学式プラネタリウム

Photo: Courtesy ZEISS



開館案内・アクセス

開館時間 9時～17時

休館日 火曜、祝日(子どもの日を除く)、年末年始
※火曜が祝日の場合は翌日も休館。

車 国道 204 号線から宮田郵便局側へ交差点を曲がりそのまま直進
バス 総合教育センター行き、清水循環(保立町で下車後徒歩 2 分)、
矢峰行き(宮田町で下車後徒歩 6 分)

特集に関する問い合わせ 少年科学館 ☎ 23-1517